

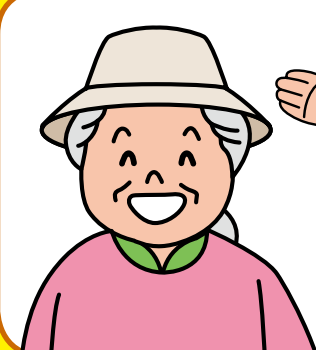


特集
テーマ

認知症ってなあに？

平成25年1月20日発行(昭和51年12月1日発行)

ぼくのおばあちゃんは、認知症です。



ぼくの名前はタクヤ。
ぼくのやさしいおばあちゃん、75歳です。
おばあちゃんは、畑でたくさん野菜を作っています。
おやきづくりはとっても上手。
いつも笑顔で、近所の人たちの人気者なんです。

だけど、おばあちゃんは、
ときどきおかしいことをします。



ぼくのことを
お父さんと
間違えます。

朝ごはんは
もう終わりましたよ。

ぼくだよ、
タクヤだよ

ごはんを食べたこと
をすぐ忘れます。

認知症ってなんだろう

認知症とは、脳の病気などが原因で、物忘れがひどくなったり、判断する力がおとろえたり、今までのような生活ができなくなったりする病気です。

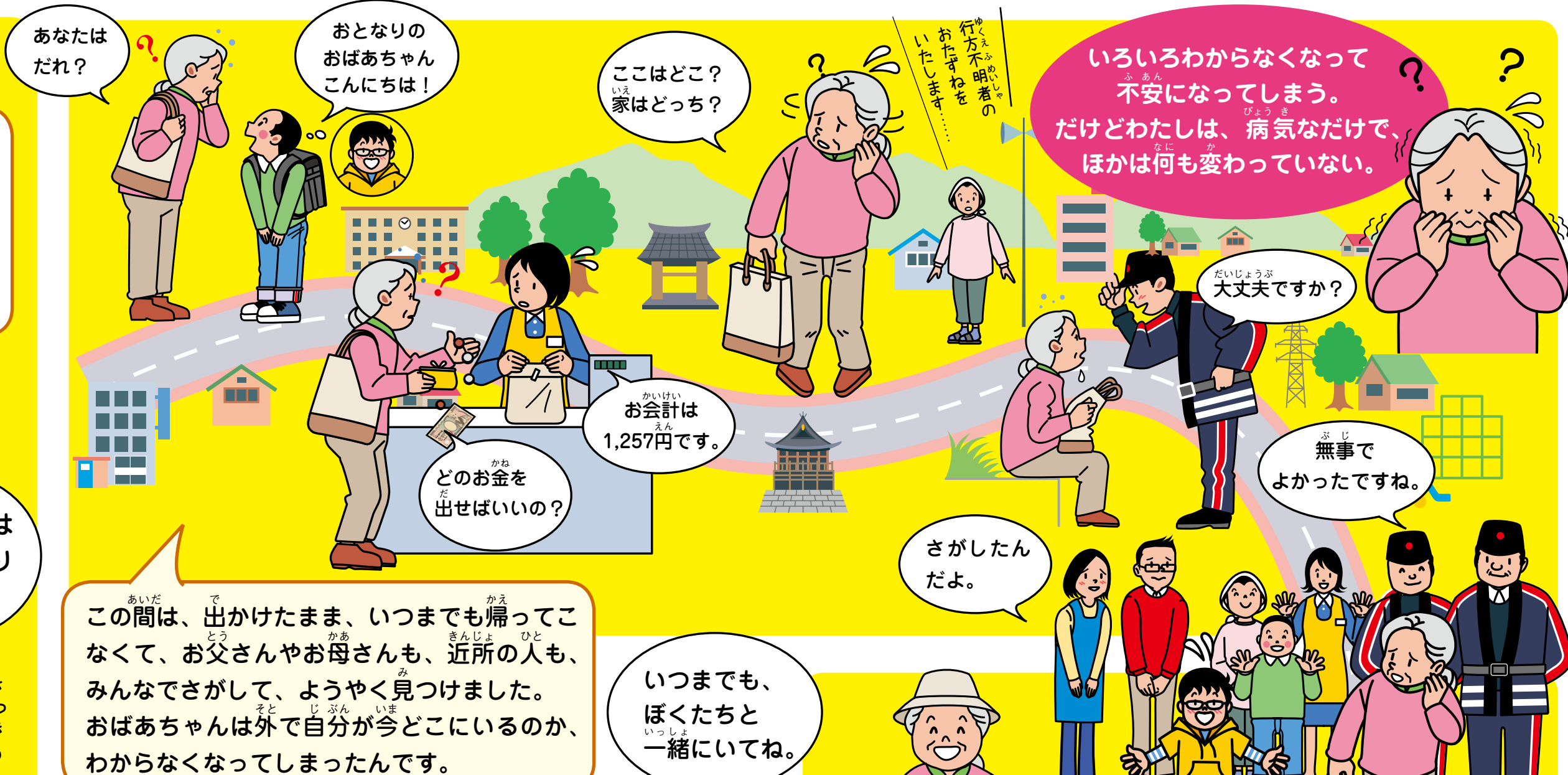
認知症になると起こること

- すぐ前の出来事を忘れてしまう
- 新しいことをおぼえられない
- 今いる場所がわからない
- ものごとの判断ができにくくなる
- よく知っている人の顔がわからない

認知症の人は、自分におかしいことが
起きていることはわかるので、とま
どい、不安に思っています。家族も、
悩んでしまいます。



認知症は、まわりの人がその人の不安な
気持ちを理解して優しく接してあげるこ
とで、症状はおだやかに improves。



わたしの気持ちを
みんながわかって
くれたらうれしいよ。



おばあちゃんは、病気だけで、
とてもやさしい。いろんなことを
忘れてしまうけれど、
おばあちゃんは、おばあちゃんだ。
みなさん、おばあちゃんを
見守っててください。

message

忘れることの不安、仲間はすれの
さみしい気持ちを想像してください

みなさんが学校に忘れ物をした時や、みんなと違うこ
とをして仲間はずれになった時の気持ちを想像してみ
てください。不安になったり、悲しくなったりしませんか。
認知症に悩む人は、そんな気持ちで毎日を過ごしているかもしれません。
認知症に悩む人の数は、いま長野県内に4万人以上と言われています。こ
れからもっと増えるでしょう。とても身近な、誰
でもなる可能性のある、ごくありふれた病気です。
正しく理解して、その人や、おうちの人の気持ちを
想像してください。
そして、認知症に悩む人やその家族を、どうか
仲間はすれにならないよう見守ってほしいです。



坂本圭介さん
飯綱町社会福祉協議会
認知症支援室

各校のボランティア・地域活動の紹介

南木曽町立南木曽小学校

南木曽町のお宝発見！

～魅力ある「触れ合い」「体験」を通して～



お茶畑 若葉が並び 香り立つ
田立地区でのお茶摘み
△5・6年生が中心となり1芯3葉(若葉が3枚)
だけを摘み取ります。摘んだお茶は給食で飲んだり、
お世話になった方々に贈呈しています。



読書地区での林業体験
樹齢の木 80年後には 製品に
△植樹・伐木・ベンチ作り体験や、
貯木場・製材所・検伐の見学を通し、
全国で愛される木曾ヒノキや生活を
支える木の学習をしています。



関・広瀬地区でのろくろ体験
▼千年前に発明されたといわれる
手回し機械を使い、のみを当てて
実際に木を削り、皿を作りました。
ろくろはね 南木曽の宝
くるくる 回すぞこい！
▼多くの方に要龍宿に来てもら
おうと、手作りパンフレットを
修学旅行(上野)で配りました。
「ぜひ行きます」「見やすい案内
ですね」など、お手紙もたくさ
んいただきました。



要龍宿は
いいところ
ですよ

このように、たくさんの地域の方々との「触れ合い」
「体験」を通して、南木曽の誇る宝を発見しています。

私たちの学校では、
こんな活動をしています。



各校のボランティア・地域活動の紹介

須坂市立 須坂小学校

地域に学ぶ「くぬぎの時間」

～地域の先輩方とのふれあいを通して～



250年前から続く笠鉾行列に参加
神楽保存会の人のこ
指導で、上手にたた
けるようになったよ！



のこぎりは
こうやって
使うんだよ



おかげで
元気がでるよ
福祉体験講座

平安時代の須坂は「桐原庄」と呼ばれていたこと
から、須坂小学校の校章にはくぬぎの葉が3枚
使われ、総合的な学習の時間は「くぬぎの時間」と呼ば
れています。3～6年生が交流する縦割り活動では、地
域の方々を講師に招き、5つの講座が開かれています。
「福祉体験講座」では、社会福祉協議会の方々が講
師になってくださいました。学校の近くにある施設の
お年寄りや交流したり、お年寄りのことを知るために
「高齢者疑似体験」や「車いす体験」をしたりしました。
このほかに竹とんぼや水鉄砲を作って遊ぶ「昔の遊び

に挑戦講座)、地元の料理「こねつけ」などを作る「郷土
料理講座」、昆虫や植物、岩石を調べる「鎌田山講座」、
お味噌を教えていただく「神楽・笠鉾講座」があります。
地域の先輩である講師の方々からは、「子どもに教え
るのはとても楽しい」「目を輝かせて話を聞き、真剣にや
っている姿を見ることは元氣
の源だ」とお聞きしました。
地域の方々との関わりを通
して地域の良さに気づき、須
坂の伝統を受け継いでいくこ
との大切さを教えていただい
ています。

栄村ニュース

僕たちのフットサルチーム



チームの名前は
「EGO-MA」です！

地震で避難所生活をしていた時、AC 長
野パルセイロが栄村の子どもたちを試合に
招待してくれました。地震の時はまだ雪
があったから外で遊べなくて、みんなが暗
い顔だったけど、試合を見たり、選手と一
緒にサッカーをしたら、みんなが笑顔にな
りました。
お母さんたちに、「みんなとサッカーを
したい」とお願いしたけど、栄村にはサ
ッカーチームがないからダメでした。でも、
村が少しずつ良くなってきたら、お母さん
たちがサッカーチームをつくってくれます。
子どもの数が少ないからフットサルに
なってくれど、僕はうれしかったです。
地震で家とか大変なのに、みんなのお父
さんとお母さんが、ユニフォームやボール、
ゴールも買ってくれました。とてもうれし
かったです。だから、いっぱい練習をして、
上手になって、いつか試合に出て優勝して、
みんなを元気にしたいです。

2011年3月の長野県北部地震で被災した栄村の小学生たちのいまをお伝えします。

18歳までの子どもがかけられる「子ども専用の電話」
「だれかに話したい」
そんなとき……
チャイルドライン
フリー
ダイヤル 0120-99-7777
★困っているとき、悩んでいるとき、嬉しいとき、
なんとなく誰かと話したいとき、かけてみてください。
お説教はしません。
★ちょっといいにくいことでも、
名前を言わなくてもいいので
安心して話してください。
★あなたの気持ちを大切に、
どんなことでも、いっしょに
考えます。
★どんなことでも、
あなたの話を聞かせてください。
チャイルドラインは皆さんの
新しい勇気と希望が役立てられています。

あなたのまちの
ボランティアセンターへ行こう！
●発行/お問い合わせ ●ふれあいネットワーク
社会福祉法人 長野県社会福祉協議会
〒380-0928 長野市若里7-1-7 県社会福祉総合センター内
TEL.026-226-1882 FAX.026-228-0130
電子メール vcenter@nsyakyoku.or.jp
ホームページ http://www.nsyakyo.or.jp
公益社団法人 信濃教育会
〒380-0846 長野市旭町1098 TEL.026-232-6994
ホームページ http://www.shinkyo.or.jp/
やまびこだよりは、長野県社会福祉協議会のホームページから
PDFファイルとしてダウンロードできます。どうぞご利用ください。
<http://www.nsyakyo.or.jp>

この新聞の発行には、皆さんの赤い勇気と希望が役立てられています。